

プレスリリース
2024年9月24日

報道関係者各位

AutoForm Forming R12 – プレス成形工程のフィジビリティ評価および検証

プレス成形プロセスおよび BiW アセンブリ・プロセスのソフトウェア・ソリューションを提供する世界有数のサプライヤーであるオートフォーム社は、最新のソフトウェア・バージョン AutoForm Forming R12 を発表しました。このバージョンには、プレス成形プロセスチェーンの中でも、特にプレス成形工程のフィジビリティ評価や検証に有用な新機能や拡張機能が実装されています。

AutoForm Forming R12 にはプレス成形工程のフィジビリティ評価を進化させる新たなオプションが実装されました。最新のメッシュ・リファインメント方策により、成形中および成形終了時のしわの深さ、サイズ、数をより現実的に予測することができます。また最大プレス荷重だけでなく、その分布も考慮することができます。そのためプレス機が金型を適切に閉じることができるかをより正確に把握でき、より円滑な部品生産が担保されます。さらに AutoForm Forming R12 ではさまざまなソルバーの改良が行われており、16 コアの並列計算を活用したシミュレーションの高速化や最大要素数の増加などによって、特に大型部品や非常に繊細な構造を有する部品にも十分に対応できます。他にもトライアウトで必須であるライブラリの拡張など、さまざまな TriboForm の機能強化が図られています。このように AutoForm Forming R12 の活用を通じて、工程のフィジビリティを迅速かつ簡単に評価できます。

AutoForm Forming R12 は工程検証にも有用な新機能をお届けします。改良されたスムーズ・コントロールのオプションによってスプリングバック見込み補正が容易になり、スムーズ係数を調整することで必要な品質を得ることができます。また AutoForm-DieDesignerPlus の機能強化を通じて、AutoForm 環境下での高品質なサーフェス作成や見込み補正の利便性が高まり、工程検証がさらに有意義なものとなります。この最新リリースでは弾性金型のたわみ(オーバークラウニング)の見込み補正を行う新たなオプションも追加され、生産工程では、トライアウトの回数、不合格品、プレス機の不稼働時間を大幅に削減することが可能になります。

オートフォーム・グループ CMO のマーカス・トマは、以下のように述べています。「AutoForm Forming R12 には、プレス成形のプロセスチェーンにとって重要な多くの新機能や機能強化が実装されています。工程設計者は AutoForm Forming R12 を使用することで、より優れた部品および工程設計、設計品質の向上、信頼性の高い長期的な設計性能を実現できます」

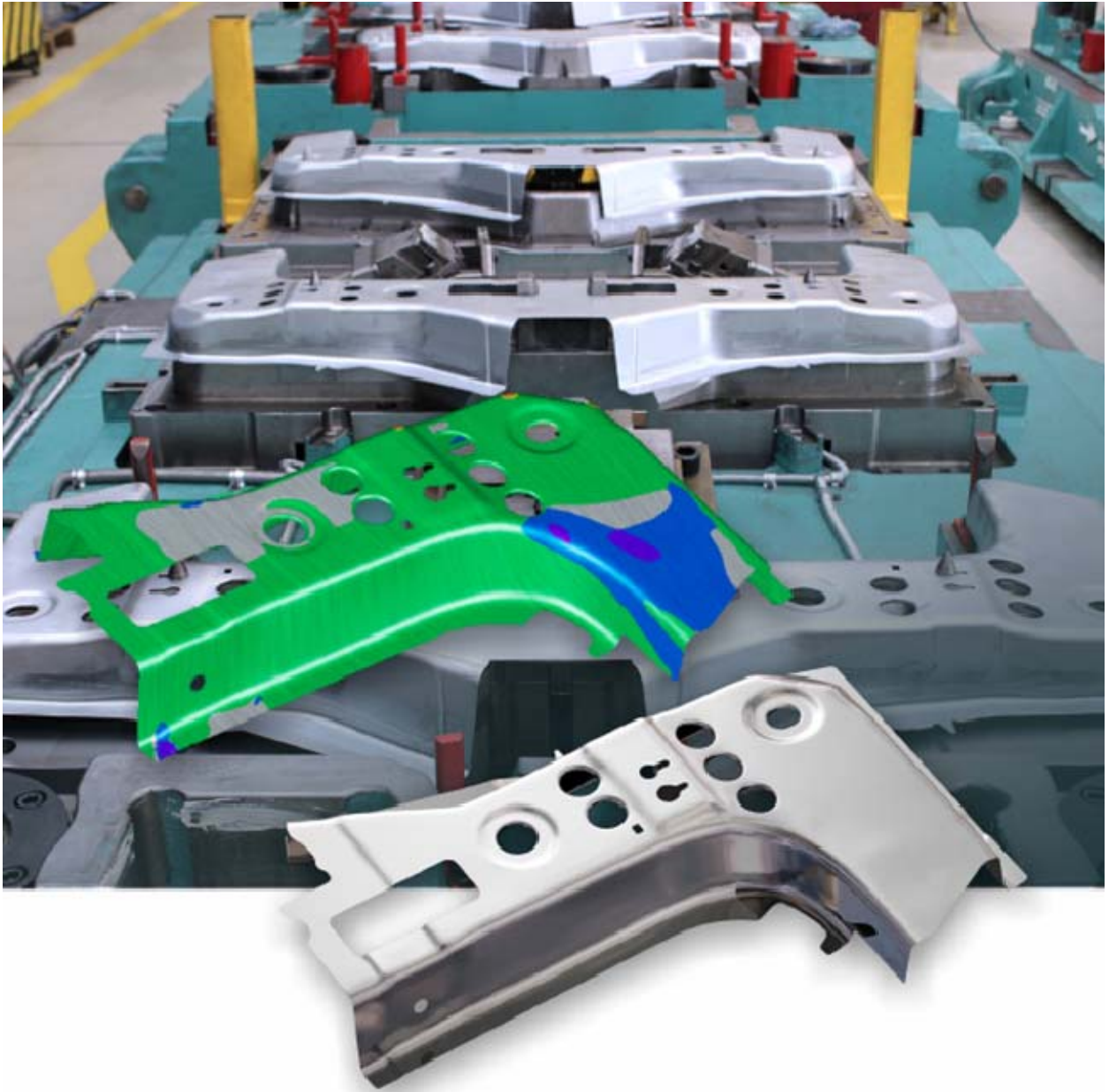
オートフォーム社について

オートフォーム社は、プレス成形および BiW アセンブリ工程のソフトウェア・ソリューションを提供しています。400 名以上の社員を擁するオートフォーム社は、製品の製造可能性、金型および材料のコスト計算、ダイフェース設計、バーチャルなプレス成形、そして BiW アセンブリ工程の最適化に対応するソフトウェアのリーディング・プロバイダとして広く認知されています。大手自動車メーカー 20 社やほぼすべての関連企業が、AutoForm を利用しています。スイスのチューリッヒを本拠として、その拠点網はドイツ、オランダ、フランス、スペイン、イタリア、チェコ、スウェーデン、アメリカ、メキシコ、ブラジル、インド、中国、日本、韓国に広がっています。この他 10 カ国以上に代理店を設けています。詳しくは弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.autoform.com

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

オートフォームジャパン株式会社 担当: 坂本
〒105-0021 東京都港区東新橋 2 丁目 3 番 17 号 MOMENTO SHIODOME 3 階
TEL: 03-6459-0881 / E-mail: marketing@autoform.jp



AutoForm Forming R12 は、プレス成形プロセスチェーンに有用な新機能や拡張機能をお届けします。

高解像度の画像データが必要な場合はお問い合わせください。